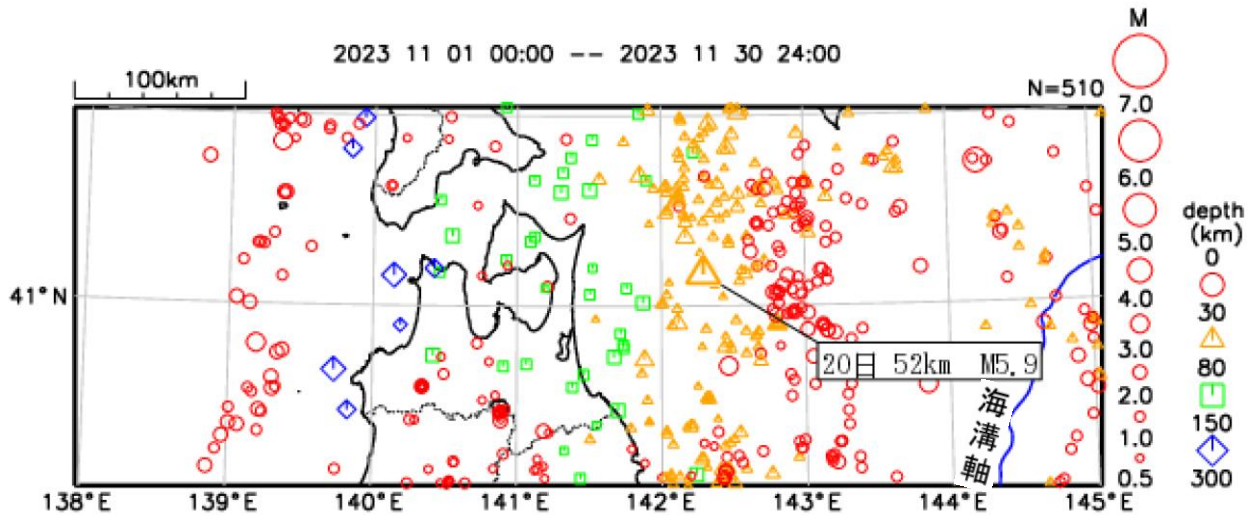


青森県月間地震概況

2023年11月

青森地方気象台

震央分布図



震央：震源（地下の岩盤破壊が最初に始まった点）の真上に向かって地表に投影した点
M（マグニチュード）：地震の規模

吹き出しをつけた地震は概況で取り上げたもの。

【11月の地震概況】

この期間、青森県とその周辺を震源とする地震の回数は510回、県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は6回であった。

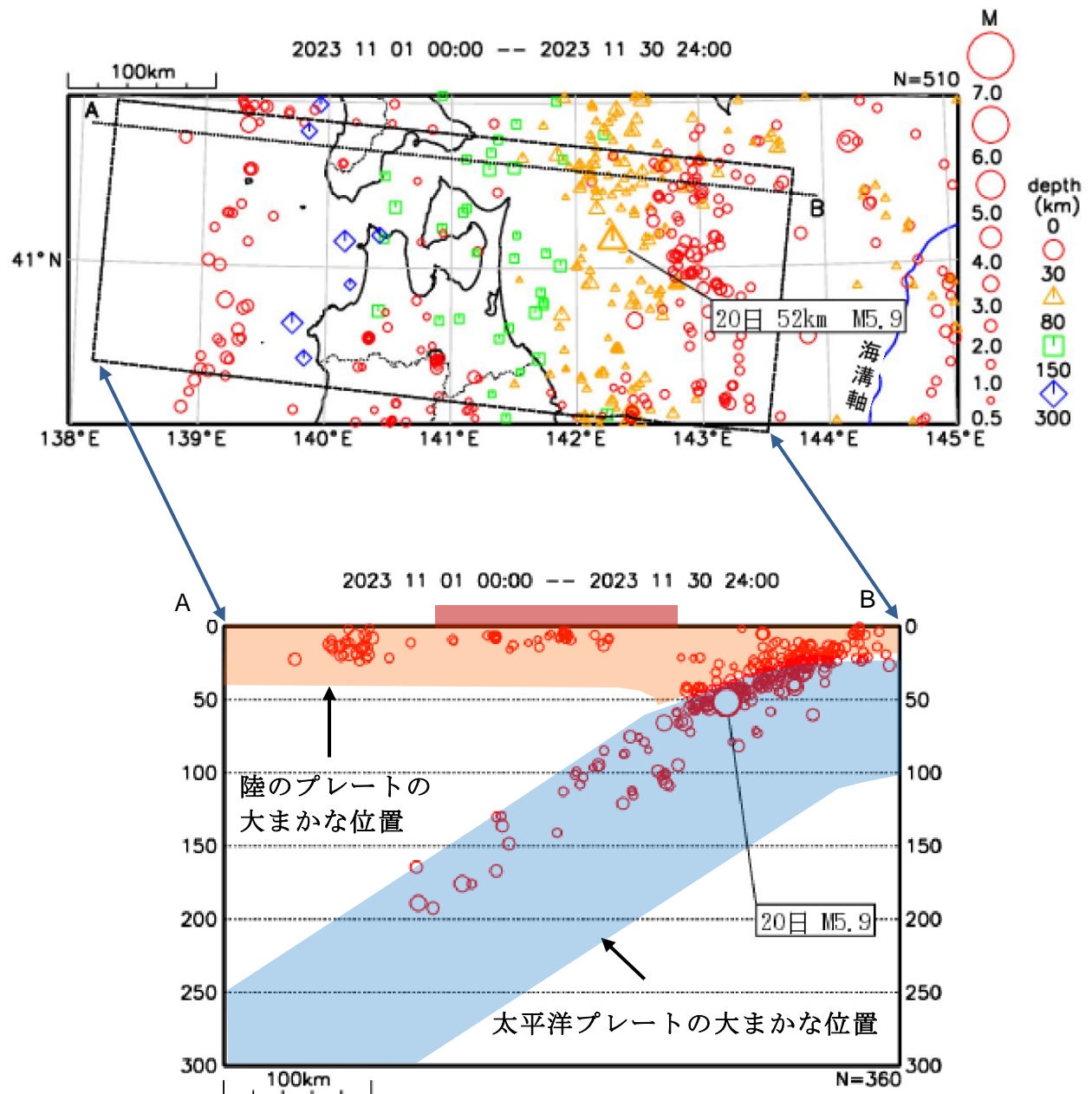
10日19時10分に千島列島の深さ130km（図の範囲外）でM5.9の地震が発生し、北海道と青森県で震度2を観測したほか、北海道、青森県、岩手県、宮城県で震度1を観測した。県内では、八戸市で震度2を観測するなど、下北、三八上北及び津軽北部の一部で震度2～1を観測した。

20日06時01分に青森県東方沖の深さ52kmでM5.9の地震が発生し、青森県で震度4を観測したほか、北海道から東北地方にかけて震度3～1を観測した。県内では、八戸市、南部町、野辺地町などで震度4を観測したほか、県内の広い範囲で震度3～1を観測した。この地震は、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

各地の震度の詳細については「青森県で震度1以上を観測した地震の表」を参照。

地震の震源要素及び震度データは、再調査により変更することがある。

断面図（震央分布図内の破線領域内のA点からB点の断面における震源の深さ）



※太平洋プレート及び陸のプレートの位置は、地震発生状況を考慮して描いた大まかなものである。

※ は陸地の大まかな位置を示している。

※陸地から離れた海域（概ね陸地から200km以遠）ほど、震源の深さに関する精度は良くない。なお、沖合の地震の震源は、実際はより浅いところのものが多いと考えられる。

青森県で震度 1 以上を観測した地震の表

※今後の精査により、震源や震度のデータが追加されることがある。

期間 2023年11月1日～2023年11月30日

発震時	震央地名	北緯	東経	深さ	規模
各地の震度					
2023年11月06日02時10分	福島県沖	37° 49.7' N	141° 37.7' E	56km	M5.0
青森県	震度 1 : 八戸市南郷* 五戸町古館				青森南部町苫米地* 階上町道仏*
2023年11月10日19時10分	千島列島	45° 14.7' N	150° 44.9' E	130km	M5.9
青森県	震度 2 : 八戸市南郷*				震度 1 : 外ヶ浜町蟹田* 八戸市湊町 八戸市内丸* 三沢市桜町* 七戸町森ノ上* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 東北町上北南* 六ヶ所村尾駸 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町苫米地* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市大畑町中島* 東通村砂子又蒲谷地 東通村砂子又沢内*
2023年11月12日04時39分	青森県東方沖	40° 42.9' N	141° 53.1' E	66km	M3.6
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 三戸町在府小路町* 五戸町倉石中市* 東通村白糠* 東通村砂子又沢内*				
2023年11月20日06時01分	青森県東方沖	41° 10.0' N	142° 17.5' E	52km	M5.9
青森県	震度 4 : 八戸市湊町 八戸市内丸* 野辺地町田狭沢* 七戸町森ノ上* 東北町上北南* 青森南部町苫米地*				
	震度 3 : 青森市花園 青森市中央* 平内町小湊 平内町東田沢* 外ヶ浜町蟹田* 八戸市南郷* 十和田市西二番町* 十和田市西十二番町* 十和田市奥瀬* 三沢市桜町* 七戸町七戸* 六戸町犬落瀬* 横浜町林ノ脇* 横浜町寺下* 東北町塔ノ沢山* 六ヶ所村尾駸 六ヶ所村出戸 三戸町在府小路町* 五戸町古館 五戸町倉石中市* 青森南部町沖田面* 青森南部町平* 階上町道仏* おいらせ町中下田* おいらせ町上明堂* むつ市金曲 むつ市金谷* むつ市大畑町中島* むつ市川内町* 東通村砂子又蒲谷地 東通村尻屋* 東通村白糠* 東通村砂子又沢内*				
	震度 2 : 青森市浪岡* 五所川原市栄町 五所川原市敷島町* 五所川原市相内* 五所川原市金木町* 今別町今別* 蓬田村蓬田* 板柳町板柳* 鶴田町鶴田* つがる市柏* つがる市森田町* つがる市稲垣町* つがる市車力町* つがる市木造* 中泊町中里* 弘前市城東中央* 黒石市市ノ町* 藤崎町西豊田* 藤崎町水木* 田舎館村田舎館* 平川市猿賀* 八戸市島守 七戸町北天間館 田子町田子* 新郷村戸来* むつ市大畑町奥薬研 むつ市脇野沢* 大間町大間* 佐井村長後*				
	震度 1 : 五所川原市太田 外ヶ浜町平館* 外ヶ浜町三厩* 中泊町小泊* 弘前市和田町 弘前市弥生 弘前市賀田* 弘前市五所* 鱒ヶ沢町舞戸町鳴戸 鱒ヶ沢町舞戸町小夜* 深浦町長慶平 深浦町深浦岡町 深浦町深浦中沢* 深浦町岩崎* 西目屋村田代* 大鰐町大鰐* 平川市碓ヶ関* 平川市柏木町* 風間浦村易国間* 佐井村佐井*				
2023年11月20日14時01分	青森県東方沖	41° 33.4' N	142° 06.6' E	52km	M3.6
青森県	震度 1 : 東通村砂子又沢内*				
2023年11月22日02時03分	青森県東方沖	40° 54.5' N	142° 06.7' E	55km	M3.5
青森県	震度 1 : 八戸市湊町 八戸市内丸*				

(注) 地震の震源要素等は、再調査により変更することがある。

各地の震度は青森県のみを示し、*は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点である。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

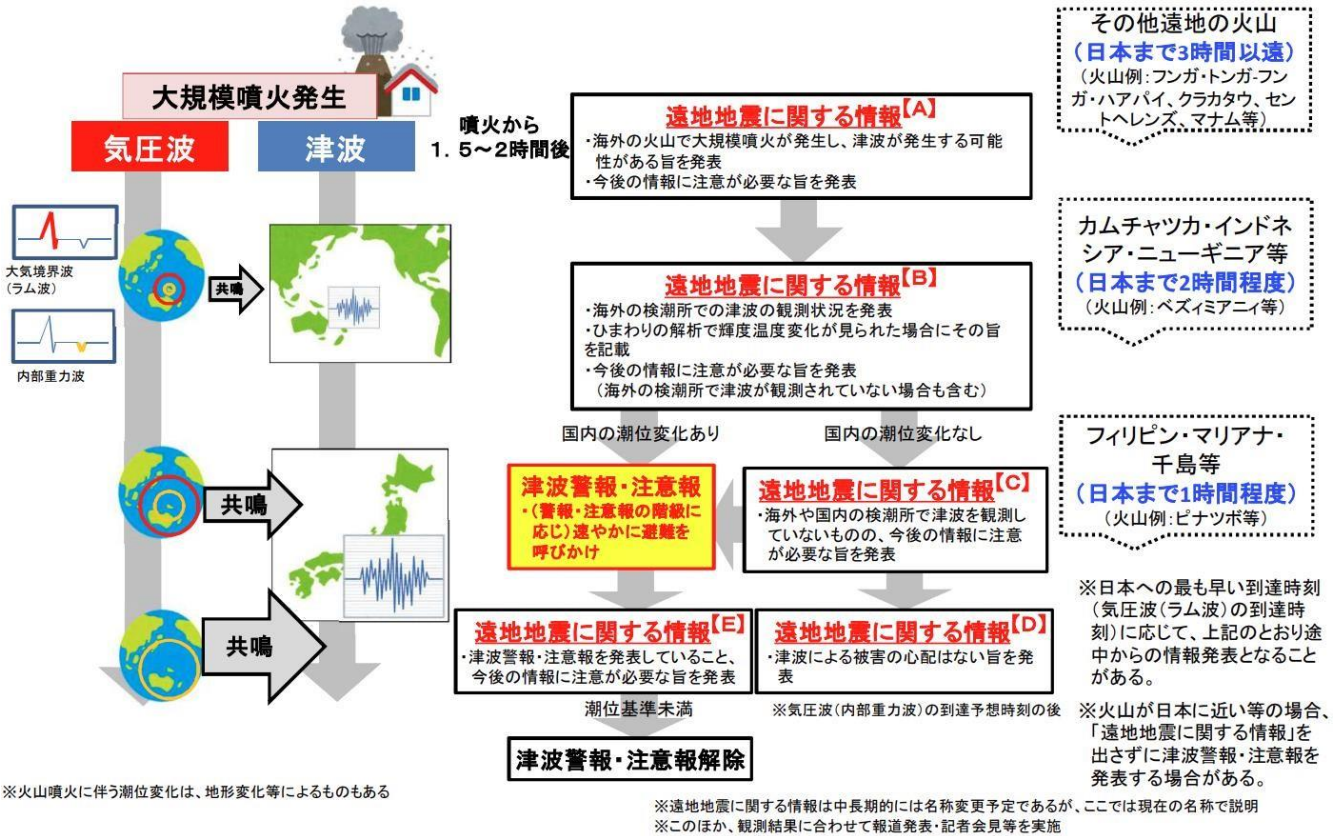
大規模噴火発生時の津波警報・情報の発表

津波は海底の下で発生した地震に伴い発生することが多いですが、火山現象等に伴い発生することもあります。2022年1月15日にトンガ諸島で発生した大規模噴火では、気圧波に伴う潮位変化により、高知県、徳島県、三重県、宮城県で転覆船・沈没船等30隻などの被害（国土交通省による、2022年1月17日04時30分現在）が発生しました。

【火山現象等に伴う津波の例】

- ・日本の沿岸付近、島嶼部の火山の山体崩壊や地形変化等に伴う津波（1792年 雲仙岳眉山「島原大変肥後迷惑」、1741年 渡島大島）
- ・日本近海の海底噴火等に伴う津波（2021年 福徳岡ノ場、1952年 明神礁）
- ・海外の火山噴火の気圧波に伴う津波（2022年 フンガ・トンガ-フンガ・ハアパイ、1883年 クラカタウ）

海外で大規模噴火が発生した際の情報発表の流れは以下のとおりです。



海外で大規模噴火が発生した際の情報発表の流れ（概要） （火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方（報告書）図表集 資料13）

- ◆海外で大規模噴火が発生した場合や、大規模噴火後に日本へ津波の伝わる経路上にある海外の津波観測点で潮位変化が観測された場合に、「遠地地震に関する情報」により、日本でも火山噴火等に伴う潮位変化が観測される可能性がある旨をお知らせします。
- ◆その後の国内各地の潮位変化に応じて、津波警報・注意報を発表します。（火山が日本に近い等の場合は、「遠地地震に関する情報」を出さずに津波警報・注意報を発表する場合があります。）

火山現象等に伴う津波によって津波警報等が発表される場合でも、取るべき行動は地震による津波の場合と変わりません。気象庁が随時発表する情報に注意して、気象庁 HP 等を参考に適切な防災対応をとってください。津波警報等の種類とそれぞれの情報を用いて取るべき行動は以下のとおりです。

津波警報等の種類

種類	発表基準	発表される津波の高さ		想定される被害と取るべき行動
		数値での発表 (予想される津波の高さ区分)	巨大地震の場合の発表	
大津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで3mを超える場合。	10m超 (10m<予想される津波の最大波の高さ)	巨大	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。
		10m (5m<予想される津波の最大波の高さ≤10m)		
		5m (3m<予想される津波の最大波の高さ≤5m)		
津波警報	予想される津波の最大波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合。	3m (1m<予想される津波の最大波の高さ≤3m)	高い	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。沿岸部や川沿いにいる人は、 ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難 してください。
津波注意報	予想される津波の最大波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合。	1m (0.2m≤予想される津波の最大波の高さ≤1m)	(表記しない)	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、また、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。

気象庁 HP

○火山噴火等による潮位変化に関する情報のあり方とそれを踏まえた情報発信の運用改善について

https://www.jma.go.jp/jma/press/2207/27a/tonga_kentoukai_houkokusho.html

○地震や火山現象等に伴い発生する津波

https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami/various_causes.html

○地震・津波 安全のしおり

https://www.jma.go.jp/jma/ki-shou/books/eqtsunami_guidance/eqtsunami_guidance_jp.pdf

【地震本部地域講演会 in 八戸市】地震・津波を知ろう！備えよう！を開催します

2024年2月4日（日）13時30分から、八戸市公民館ホールで【地震本部地域講演会 in 八戸市】地震・津波を知ろう！備えよう！を開催します。

青森県東方の日本海溝・千島海溝沿いでは大規模な地震や津波の発生が予想されています。いざという時、命を守るために日ごろから備えておく必要があります。しかし、「備え」と言ってもやるべきことは多岐にわたります。その中でも、地震や津波についてどれだけ理解が進んでいるのか、地元ではどんな対策や取り組みをしているのかを「知る」ことも一つの備えです。

この講演会を通して地震・津波について考えてみませんか？

○開催概要

1. 開催日時 2024年2月4日（日）13時30分～16時00分
2. 会場 八戸市公民館ホール（八戸市内丸一丁目1-1）
3. 主催 地震調査研究推進本部、青森地方気象台、八戸市
4. 後援 青森県
5. 対象 どなたでも参加できます ※事前登録優先 ※手話通訳付
6. 参加人数 500名
7. 参加費 無料

○事前登録について

当日の入場は事前登録を優先させていただきますが、登録しなくてもご参加いただけます。事前登録については、以下の申し込みフォームより、必要事項を記入の上申し込みください。

URL : <https://www.ifys.jp/hachinohe-jishinbousai/entry>

○詳細は以下の案内ページをご覧ください。

<https://www.jishin.go.jp/resource/seminar/240204hachinohe/>

The poster features a large image of a cracked ground surface. Text on the poster includes:

- 地震・津波を知ろう！備えよう！** (Learn about earthquakes and tsunamis! Prepare!)
- プログラム** (Program):
 - これまでの地震本部の活動とその成果 (Past activities and achievements of the Earthquake Research Promotion Center)
 - 地震・津波研究の最新情報から (Latest information on earthquake and tsunami research)
 - 過去の津波災害から学び未来に備える (Learn from past tsunami disasters to prepare for the future)
 - 気象庁等が発表する地震・津波の情報 (Information on earthquakes and tsunamis released by the Meteorological Agency, etc.)
 - 八戸市における地震・津波対策について (About earthquake and tsunami countermeasures in Hachinohe City)
 - 地域と学校が連携した防災活動 (Disaster prevention activities involving the community and schools)
- 日時** (Date/Time): 2024年2月4日(日) 13:30-16:00
- 会場** (Venue): 八戸市公民館ホール (Hachinohe City Civic Center)
- 参加費** (Fees): 無料 (事前登録優先ですが登録しなくてもご参加いただけます) (Free (prior registration is preferred, but you can still attend without registration))
- 定員** (Capacity): 先着500名 (500 seats, first-come, first-served)